

趣 旨 書

「ウェルハートくげぬま」では今季、開設に伴い地域包括ケアの取り組みを全面的に取り入れた施設運営を目指します。多職種連携を主に施設、ご入居者様への医療、看護、介護そして生活を支える施設（ホスピス）を目指します。ホスピスやナーシングホームという呼び名は昨今多く聞かれる様になりました。

弊社が希望し運営する施設は家族と本人が主人公です。そして医療、看護、介護が三位一体となりターミナルケアを実現できるサービスを提供したいと願います。そのサービス体制で入居者、家族にとっても安心して、信頼できる環境を提供致します。経営理念において、「病氣」をみる「怪我」をみる「病」をみるのではなく入居者である患者本人をみる介護、看護体制を具現化していきたいと思えます。これが「ウェルメディックケア」です。

ウェルメディック・ポイント 訪問看護部 代表責任者 山崎優子

理 念・・・プロ意識として。

人は老いる事に不安を感じます。

老いる事、終末をむかえる事に嘆き悲しみます。

患者に寄り添う介護、看護とはその全てを取り除く努力をする事です。

ナイチンゲール誓詞》

われは此处(ここ)に集いたる人々の前に厳(おごそ)かに神に誓わん
わが生涯を清く過ごし、わが任務(つとめ)を忠実に尽くさんことを
われは総(すべ)て毒あるもの、害あるものを絶(た)ち、悪しき薬を用
いることなく又知りつつこれをすすめざるべし。



われはわが力の限りわが任務(つとめ)の標準(しるし)を高くせんことを努(つと)むべし。

わが任務(つとめ)にあたりて、取り扱えたる人々の私事(しじ)のすべて、わが知り得たる一家の内事(ないじ)のすべて、われは人に洩(も)らさざるべし
われは心より医師を助け、わが手に託されたる人々の幸のために身を捧(ささ)げん